

中野区議会だより

No. 218 平成22年(2010年) 8月9日

編集・発行／中野区議会

〒164-8501 中野区中野4-8-1
電話3228-5585 FAX3228-5693
Eメール kugikaijimu@city.tokyo-nakano.lg.jp
ホームページ http://kugikai.city.nakano.tokyo.jp/



7月にオープンした中部すこやか福祉センター

第2回 定例会

中野区すこやか福祉センター 条例など23議案を可決

区議会は第2回定例会で、「中野区すこやか福祉センター条例」など区長提出18議案のほか、「機能性低血糖症」に係る国の取り組みを求める意見書」など議員提出5議案を可決しました。また副区長二人の選任に同意しました。

第2回定例会は、6月23日から7月8日まで開かれました。

議案の審議に先立ち、区長の所信表明を受け、25日から3日間、18人の議員が区政課題について一般質問を行いました。

この定例会では、中野区すこやか福祉センターの設置、名称、位置等の規定を行う「中野区すこやか福祉

センター条例」など計18件の区長提出議案を審議しました。そのうち16件を全会一致で、2件を賛成多数でそれぞれ可決しました。

また、「機能性低血糖症」に係る国の取り組みを求める意見書」など6件の議員提出議案を審議し、そのうち4件を全会一致で、1件を賛成多数で可決し、1件を否決しました。

請願については、1件を不採択とし、陳情については、1件を採択、1件を不採択としました。

このほか、副区長の選任について、金野 晃（こんの あきら）氏を全会一致で、阪井 清志（さかい きよし）氏を賛成多数で、いずれも同意しました。

議案・請願に 対する討論

議案・請願の審議にあたり、次の議員が討論を行いました。

《議案》

●恒久財源なきばらまき政策を排し、財政の健全化を求める意見書

●反対討論

かせ 次郎 （共産）

（審議結果 可決）

《請願》

●食料の自給力向上と、食の安全・安心の回復に向けて、食品表示制度の抜本的改正を求める意見書の提出について

●賛成討論

林 まさみ （無所属）

（審議結果 不採択）

第2回 定例会 可決した 議案

区長提出議案

●中野区テレビジョン放送の受信障害の解消に関する条例を廃止する条例

●中野区職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例

●中野区職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

●中野区職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例

●中野区職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例

●中野区行政財産使用料条例の一部を改正する条例

●中野区特別区税条例の一部を改正する条例

●防災行政無線デジタル化等整備工事請負契約

●丸山小学校体育館等改築工事請負契約

●機及びいすの買入れにつ

いて

●遺贈の放棄について

●中野区国民健康保険条例の一部を改正する条例

●中野区すこやか福祉センター条例

●中野区仲町就労支援事業所条例

●中野区立学校設置条例の一部を改正する条例

●中野区立小学校及び中学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災

害補償に関する条例の一部を改正する条例

●中野区立幼稚園教育職員

の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例

●和解及び損害賠償額の決定について

●議員提出議案

●恒久財源なきばらまき政策を排し、財政の健全化を求める意見書

●発達障がいやその他文字を認識することに困難のある児童・生徒のための

新しい 議員

5月23日の中野区議会議員補欠選挙の結果、次の二人の議員が当選しました。任期は来年4月30日までです。



森たかゆき
(もり・たかゆき)



高橋ちあき
(たかはし・ちあき)

所属会派 民主クラブ

所属委員会 厚生委員会、

中野駅周辺・西武新宿線

沿線まちづくり特別委員

会

住所 弥生町5-9-5

ルブル中野弥生町102

☎(6454) 1971

所属会派 自由民主党

所属委員会 子ども文教

委員会、環境対策特別委

員会

住所 弥生町1-4-10

☎(3372) 3850

主な掲載記事

区政をただす……………2～5面

可決した意見書……………6面

請願・陳情の審議結果……………6面

マルチメディアデジ版教科書の普及促進を求める意見書

●「機能性低血糖症」に係る国の取り組みを求める意見書

●決議
(2件・前副区長に対する感謝状贈呈に関する決議)

●議員の辞職
5月16日付けで、奥田けんじ議員(民主)は、公職の候補者となったため、法令に基づき議員を辞したものとみなされました。

●議会運営委員の選任
5月26日付けで、吉原宏議員(自民)が議会運営委員に選任されました。

●常任委員の所属変更
6月23日付けで、吉原宏議員(自民)の所属委員会が、子ども文教委員会から建設委員会になりました。

●議会運営委員の辞任
6月23日付けで、酒井たくや議員(民主)が議会運営委員を辞任しました。

第2回
定例会

区政をただす

一般質問

保育園の待機児童

対策を急げ

自由民主党議員団

高橋 ちあき



東京都の保育計画案では、保育サービスを質、量とも拡充し、今後5年間で定員を3万5千人増やすとしている。①区は保育ニーズをどのように分析し、保育需要にどう対応するのか。②駅に近い旧桃丘小学校跡施設の保育園機能を再活用してはどうか。③区は職員2千人体制を目指し保育園の民営化を進めているが、保

育の需要増を踏まえ、今後、保育士を含め区立保育園の運営をどう進めていくのか。区 長 ①景気の低迷により母親の就労意向が高まり、0歳から2歳の保育需要が急増している。対策として、区立保育園の建て替え・民営化による定員増や、認証保育所の新規開設支援、家庭福祉員の拡大など、可能なことから取り組んでい

く。②旧桃丘小学校跡施設は産業関連施設として活用を検討している。保育需要は長期的に増加傾向と予測しており、暫定的な保育園設置では効果が限定されるため、一時的な活用は考えていない。③保育所運営は、民間活力を生かし保育需要の増加に対応しつつ、2千人体制に向け努力していく。早急に防犯対策を進めよ

①区民意識調査による区が取り組むべき防犯対策は、1. 防犯パトロールカーによる巡回、2. 地域や警察との連携強化、3. 犯罪に強い環境づくり、であった。この結果を踏まえ、検討しているか。②区長は「安全で安心なまち」、「中野に住んで良かったと思えるまちづくりを進める」と述べているが、防犯の取り組みは最重要課題だ。早急に取り組みを進めるべきでは。

区 長 ①自主的な防犯パトロールへの資機材の提供や保険料の助成など、区民の防犯活動が広がるよう支援するとともに、地域における防犯カメラ設置推進の検討を進めている。②区民の防犯活動団体の協力を得ながら、青色灯防犯パトロールカーの巡回をはじめ、警察など関係機関と連携し、さまざまな対策に取り組む。

今後、中野駅周辺まちづくりに投じる費用は422億円にのぼり、区民の重い負担となりかねない。財源に補助金や交付金を充てるとしているが、区民・国民の税金であることに違いはない。不要不急の開発事業は、区民の目線から検討し直す必要がある。①補助金などが入らなかった場合も、計画は推進していくのか。②中野駅周辺開発事業に、今後151億円もの起債を発行するとしている。「財政非常事態」と言いながら区民の理解を得られないのではないか。

区 長 ①まちづくり事業では、国や都のさまざまな仕組みを活用し、必要な対応をとっていく。国や都の制度変更により補助金などが得られなければ、当然計画を見直すことになる。②社会資本整備は、起債の活用により負担を平準化し、計画的に事業を進める。また、公債費負担率を10%程度に抑えた計画であり、過大な負担とはならない。待機児解消に向けた根本的な対策を実施せよ

民営化による定員の拡大、認証保育所や定員の弾力化などの規制緩和による安上がりな待機児対策では、根本的な解決は図れない。①認可保育園の計画的な増設を図るべきでは。②待機児対策が緊急課題である以上、学校の空き教室などの安全性を確保し、活用する必要があるのではないか。

区 長 ①保育園の建て替え・民営化による定員増、認証保育所の開設支援、幼稚園の預かり保育の推進など、多様な方法を組み合わせ対応していく。②区有施設の活用については、10か年計画の本来整備に支障を及ぼさない範囲内で、可能性について検討する。

少人数学級の取り組みと学校再編計画を問う

今年度、都の学級編制基準の改正により、以前より少人数の学級編制が可能となった。区内では小学校4

校、中学校1校で、効果が表れたが、①一人ひとりに目が行き届く少人数学級の推進が、学力を向上させる教育環境の整備と考えるがどうか。②都の少人数学級の取り組みで、学級増が見込まれるが、学級数をもって適正規模とすることになった「中・後期の学校再編計画」の策定はやめるべきではないか。

教育長 ①学級編制は、東京都の基準によりおこなう。授業では、少人数指導の充実への取り組みが重要と考える。②小規模校の解消、適正規模の確保という、学校再編の基本的な考え方は変わらない。中・後期の再編計画は、これからの中野の教育検討会議などの結果を踏まえ、今後検討する。

遅滞している公会計改革を
着実に実行へ移せ

公明党議員団

飯島 謹一



区の公会計改革の一端をなす財務監理体制の確立、年次報告書の作成などの実施が遅れている。①基準モデルによる複式簿記・発生主義会計が当初予定の23年度に導入できるのか。②予定を変更し、総務省方式改訂モデル導入が現実的では

区 長 ①全庁的な統制の制度設計を追加で検討しているため、当初予定とは異なる進行となっている。②資産の現在価値をより高い確度で記録できるため、基準モデルを導入したい。情報通信環境を整備し中野駅周辺の魅力創出を

区長は中野駅周辺を東京の新たな活動拠点とすることを目指している。その手段として、グリッド型の公衆無線LAN整備やネット

での地域FM放送の開始、警察大学校跡地施設にユーストリームのサテライトスタジオの整備を行っては。区 長 駅周辺地区は時代の先端を行く、特色のあるエリアとしたい。提案の内容も参考に、仕掛けづくりを検討したい。

糖尿病対策・がん登録の推進に積極的な取り組みを

①区長が推進を説く糖尿病予防対策とは、現行の特定保健指導事業の枠を超えるものか。②健康への取り組みとがん対策は切り離す

区 長 ①区長が推進を説く糖尿病予防対策とは、現行の特定保健指導事業の枠を超えるものか。②健康への取り組みとがん対策は切り離す

区 長 ①区長が推進を説く糖尿病予防対策とは、現行の特定保健指導事業の枠を超えるものか。②健康への取り組みとがん対策は切り離す

大規模開発優先の
区政運営を見直せ

日本共産党議員団

長沢 和彦



今後、中野駅周辺まちづくりに投じる費用は422億円にのぼり、区民の重い負担となりかねない。財源に補助金や交付金を充てるとしているが、区民・国民の税金であることに違いはない。不要不急の開発事業は、区民の目線から検討し直す必要がある。①補助金などが入らなかった場合も、計画は推進していくのか。②中野駅周辺開発事業に、今後151億円もの起債を発行するとしている。「財政非常事態」と言いながら区民の理解を得られないのではないか。

区 長 ①まちづくり事業では、国や都のさまざまな仕組みを活用し、必要な対応をとっていく。国や都の制度変更により補助金などが得られなければ、当然計画を見直すことになる。②社会資本整備は、起債の活用により負担を平準化し、計画的に事業を進める。また、公債費負担率を10%程度に抑えた計画であり、過大な負担とはならない。待機児解消に向けた根本的な対策を実施せよ

民営化による定員の拡大、認証保育所や定員の弾力化などの規制緩和による安上がりな待機児対策では、根本的な解決は図れない。①認可保育園の計画的な増設を図るべきでは。②待機児対策が緊急課題である以上、学校の空き教室などの安全性を確保し、活用する必要があるのではないか。

区 長 ①保育園の建て替え・民営化による定員増、認証保育所の開設支援、幼稚園の預かり保育の推進など、多様な方法を組み合わせ対応していく。②区有施設の活用については、10か年計画の本来整備に支障を及ぼさない範囲内で、可能性について検討する。

少人数学級の取り組みと学校再編計画を問う

今年度、都の学級編制基準の改正により、以前より少人数の学級編制が可能となった。区内では小学校4

校、中学校1校で、効果が表れたが、①一人ひとりに目が行き届く少人数学級の推進が、学力を向上させる教育環境の整備と考えるがどうか。②都の少人数学級の取り組みで、学級増が見込まれるが、学級数をもって適正規模とすることになった「中・後期の学校再編計画」の策定はやめるべきではないか。

教育長 ①学級編制は、東京都の基準によりおこなう。授業では、少人数指導の充実への取り組みが重要と考える。②小規模校の解消、適正規模の確保という、学校再編の基本的な考え方は変わらない。中・後期の再編計画は、これからの中野の教育検討会議などの結果を踏まえ、今後検討する。

トランス脂肪酸対策を進め
食の安全を確保せよ

民主クラブ

酒井 たくや



トランス脂肪酸は、糖尿病、心臓病、アトピーなどの原因になると言われているが、学校給食でもトランス脂肪酸を多く含むマーガリンが出ている。未成熟の子どもには、微量でも大きな影響を与える可能性がある。給食から、トランス脂肪酸を含む食材をなくす取り組みが必要ではないか。

区 長 過剰摂取にならないよう、献立作成や食材の選択に注意を払っている。桃園第二小学校に渡り廊下を設置せよ

体育館が校舎の敷地内にないため、児童は道路を横断して移動している。安全対策のため、安全指導員を配置しているが、費用対効果を考え、渡り廊下の設置を検討すべきでは。

区 長 JRでは、1経路を確保しているため、現時点では計画していない。

区 長 JRでは、1経路を確保しているため、現時点では計画していない。

今後も要請を続けていく。
私道の舗装整備を急げ

私道舗装は、地権者の一

部負担が壁になり進まない。
多くの人が往来する準公道
のような私道には、区が全
額を補助すべきでは。

区 長 私道の公共性に
応じ助成しているため、負
担はご理解いただきたい。

丸山小学校児童の

通学の安全確保を

自由民主党議員団 大内 しんご



丸山小学校の児童の通学
路となっている籠原歩道橋
は、欄干の高さが1・1メ
ートルしかなく、強風にあ
おられた場合、非常に危険
である。児童や地域住民が
安全に、また安心して利用
できるよう、早急な対応が
必要と考えるが、区の今後
の対応予定はどのようなに
なっているか。

にぎわいのあるまちづくり
に区は積極的な支援を

今年に完成する野方駅の
駅前広場を祝うイベントを
地元商店街が予定している。
区も積極的に支援、協力す
べきではないか。

区 長 駅は、まちのに
ぎわいの中心であり、地元
の取り組みを、区としても
応援していきたい。

教育長 危険性について
は十分に認識しているところ
であり、設置管理者である
東京都に早急な対応を強
力に働きかけるとともに、
区として登下校の安全対策
について十分に配慮してい
きたい。

予防ワクチン接種の

公費助成を拡充せよ

公明党議員団 小林 秀明



予防医療の施策である予
防接種が重視されてきた。
多くのがん対策を進める中
で、国は昨年度、乳がん・
子宮頸がん検診の無料ク
リ配付の事業を開始した。
また、小児用の肺炎球菌ワ

クチンが昨年、国で承認さ
れた。①女性特有のがん対
策としての中学生への子宮
頸がんワクチン接種への公
費助成や、②昨年から助成
を開始したヒブワクチンに
加え、小児や高齢者の細菌

国民健康保険制度への 国庫負担増額を求めよ

日本共産党議員団

せきと 進



①国保料が4月からまた
値上げされ、前年比は一人
当たり年額6千円、この5
年間で1万4千円もの値上
げとなった。約2割の世帯
が滞納となっているが、そ
の理由は支払能力を上回る
保険料にある。国保加入者
の半数は無職で、平均所得
は全世帯の三分の一にとど
まり、所得に占める国保料
割合は一割に迫っている。

滞納者増加が国保料値上げ
をひき起こす負の連鎖から
抜け出すには、減り続ける
国庫負担を増やす以外にな
い。4千億円の国庫負担増
で国保料が一人1万円下が
ることを示し増額を迫った
国会での質疑に対し、鳩山
前首相は財源確保に努力し
たいと答えた。区も、区長
会を通じて国に国庫負担増
額を求めるべきではないか。

とめ、定期接種化などを検
討中と聞いている。区はこ
れらの推移を見守っていく
便利で安全な
中野駅周辺のまちづくりを
中野駅地区の第1期整備
事業が始まる。①現北口広
場に妊婦や障害者が優先的
に駐車できるスペースを設
けては。②たばこの喫煙場
所を廃止しては。③JRと
共同で電車ホームの発車音
「駅メロ」を作っては。④
中野駅地区整備基本計画に
東口改札の開設を盛り込ん
ではどうか。

昨年、民間主体の自転車
駐車が整備されたことに
より、放置自転車が増加し
解消された。しかし、駅前
の放置規制区域内においても
未だ自転車が放置されてい
る。民間事業者主体による
自転車駐車場設置の手法を、
さらに展開してはどうか。

区 長 ①乗降できる場
所を設けるとともに、ユニ
バーサルデザインに配慮し
た広場整備をする。②煙の
影響などを踏まえ、この機
会に設置のあり方を総合的
に検討する。③JRや地域

の放火防止指導や撤去の一層
の強化を前提とした上で、
関係店舗などに積極的に働
きかけ、民間主体による自
転車駐車場の設置を推進し
ていく。

②厚労省の調査で、全国1
55の自治体が、低所得で
あれば、国保料の減免や徴
収猶予の理由は問われない
ことがわかった。区も、生
活に困窮していれば減免や
徴収猶予が受けられるよう
改善をすべきではないか。

景気の低迷で自営業者が
最も打撃を受けている。厚
労省の推計では、働く世帯
の一割、自営業者の一割三
分が、働いているにもかかわらず、所得が生活保護基
準の最低生活費を下回って
いる。区は、離職者総合相
談窓口を新設したが、離職
相談も生活相談も長時間待
ちで、当日相談を受けられ
ないこともある。保護基準
は、所得に応じた保険料減
額賦課制度があり、被災し
た場合は徴収猶予、減免制
度がある。区の国保条例等
に基づき実施していく。

区 長 ①国庫負担の増
額は税を財源とし、国民へ
の負担転嫁となる。増え続
ける社会保障負担について
国と自治体の分担、国民負
担など、国民的議論が必要
と考える。②低所得世帯に
は、所得に応じた保険料減
額賦課制度があり、被災し
た場合は徴収猶予、減免制
度がある。区の国保条例等
に基づき実施していく。

増加する低所得者の
相談体制強化を図れ
最も打撃を受けている。厚
労省の推計では、働く世帯
の一割、自営業者の一割三
分が、働いているにもかか
わらず、所得が生活保護基
準の最低生活費を下回って
いる。区は、離職者総合相
談窓口を新設したが、離職
相談も生活相談も長時間待
ちで、当日相談を受けられ
ないこともある。保護基準
は、所得に応じた保険料減
額賦課制度があり、被災し
た場合は徴収猶予、減免制
度がある。区の国保条例等
に基づき実施していく。

平和事業に

ハナミズキの活用を

民主クラブ

のづ 恵子



日米友好の象徴として送
ったサクラの返礼として米
国から贈られたハナミズキ
の原木が、江古田の森公園
の地にかつてあった野方
苗圃に植えられていた。
その原木の子孫が現在同公
園のハナミズキの丘に植え
られている。この中野発の
ハナミズキの話を平和の資
源として、区としてもっと
発信してはどうか。また、
区立学校にハナミズキを植
え、恒常的に触れられるよ
うにしてはどうか。

区 長 ハナミズキにつ
いては日米友好の象徴とし
てのエピソードとして認識
しており、活用できる場面
があれば活用していきたい。
平和教育については、学校
においてそれぞれ工夫して
おり、その材料の一つとし
てこのエピソードを提供し
ていきたい。

区民のための
緊急雇用対策を

区は、緊急雇用対策事業
を実施しているが、その委
託業者に雇用されている中
野区民は少ないと聞く。中

区 長 生活困窮者の増
加に対応し、相談員や相談
事業も充実を図ってきてい
る。今後の相談件数を見な
がら、対応を考えたい。

戦争や被爆体験を語り継ぐ
取り組みを企画せよ

区は戦後60年以来、戦争
や被爆体験の語り部を、日
赤などから区内小中学校に
派遣してきた。さらに、区
内被爆者団体などの意向を
聞き、教育委員会に児童生
徒に語り継ぐ企画を練るよ
う持ちかけてみてはどうか。
区 長 平和のつどいや
企画展示事業でも、区民の
語り部などのご協力を得て
いる。今後もさまざまな形
で実施できるよう考えたい。

野区民のための対策とすべ
きではないか。

区 長 雇用にあたって
は幅広く募集をかけること
が国の補助金要綱の中に定
められている。また、就労
相談窓口においては情報提
供を行っている。

CO₂削減の実績を
「見える化」せよ

区は本庁舎の緑のカーテ
ン、校庭の芝生化や屋上緑
化などCO₂削減に取り組
んでいるが、実績を本庁舎
に表示し、区民に見える形
で示せないか。

区 長 区民に効果的に
見えるPR方法について工
夫していきたい。

放置自転車減少に向けた

取り組みを

自由民主党議員団

吉原 宏



放置規制区域化により、放置自転車の減少が見込まれるが、その一方で、規制区域外の隣接箇所では放置自転車が増えている地域がある。区内全体の放置自転車減少に向けた取り組みについて区の場合は、

放置自転車撤去の際は商店会等へ事前相談を

放置規制区域内の商店などでは、客の自転車まで撤去されるのではとの心配の声がある。撤去実施日時を関係町会や商店会と相談して実施してはどうか。

区 長 規制区域外の隣接箇所については、放置防止指導、長期間放置自転車の撤去のほか、状況により、規制区域の見直しも行い、

事前相談は、撤去を行うときだけ放置しないといったことがおきる可能性があり、行っていないが、撤去作業の際には店舗に声をかけを行うなど配慮している。

中野駅地区における

自動車駐車場の整備方針は

中野駅地区に整備予定の自動車駐車場に、杉山公園地下自転車駐車場と同様の、円筒式地下駐車場を導入する予定はあるか。

区 長 中野駅地区整備基本計画で、新北口駅前広場の地下に自動車駐車場を整備する予定だが、設置ス

西武新宿線連続立体交差化で活力あるまちづくりを

公明党議員団

南 かつひこ



①沼袋駅の地下化で、駅存在感がなくなると懸念されるが、ランドマークとしての機能をどのように考えているのか。②鉄道の上部空間を活用し、駐輪場にすべきでは。③沼袋商店街通りの主幹10号線を拡幅し、都市計画道路にするのか。

④歩行者空間の安全確保のため、電線類を地中化すべきでは。⑤沿線まちづくりの一環として、西武新宿線の各駅前を路上喫煙禁止地区に指定すべきでは。

区 長

①鉄道事業者や地域に働きかけ、まちの玄関口にふさわしい景観の形

②市民後見人には、自治体のサポートが不可欠である。

成年後見制度の充実を図れ

①これまで、市民後見人養成講座の必要性を述べてきた。昨年度区長は、実施時期を考えていくと答弁していたが、進捗よく状況は。

②市民後見人には、自治体のサポートが不可欠である。

③平成20年度に、実施時期を考慮して、事業内容の見直しを検討する。

④このまま、市民後見人養成講座の必要性を述べてきた。昨年度区長は、実施時期を考慮して、事業内容の見直しを検討する。

⑤このまま、市民後見人養成講座の必要性を述べてきた。昨年度区長は、実施時期を考慮して、事業内容の見直しを検討する。

⑥このまま、市民後見人養成講座の必要性を述べてきた。昨年度区長は、実施時期を考慮して、事業内容の見直しを検討する。

ペースなどを勘案し、自走式の形態を検討している。子ども手当の対象者数と今後の区の対応を示せ

中野区における子ども手当支給対象者数、及び申請不備や未申請者に対する今後の対応は。

区 長 今年度の対象者数は、約1万9千世帯、約2万8千人と想定している。申請不備の方については、随時電話及び文書により書類の再提出をお願いしている。また、未申請の方へは7月初旬及び8月下旬に申請手続き勧奨のお知らせを送付する予定である。

地域支えあいネットワーク

の区の取り組みは

自由民主党議員団

伊東 しんじ



①20年10月に「(仮称)地域支えあいネットワーク構築に向けた3か年重点プロジェクト」が示された。これを推進し区民や協力機関へ情報提供することで、支えあい活動の理解や協力は得やすくなる。この進捗よく状況や区民への説明状況はどうか。②この制度の成否には、協力者のインセンティブが重要だ。その一つである「支えあいポイント制度」の検討状況は。

区 長 ①全体としてはすこやか福祉センターの開設など、概ね計画通りに進んでいるが、地域と行政との情報提供・共有の仕組みなど、遅れているものもある。説明は、元気でネット協力員会議などで行っているが、今後は全体的な進捗よく状況の報告などを区民へ行っていく。②23年度実施に向け検討している。

中野駅整備にあたっては

自由民主党議員団

内川 和久



区長は施政方針説明で、中野駅整備と合わせた駅の北口、南口の具体的なまちづくりの協議・調整の推進をうたっている。先行する北口だけでなく、きちんと南口にも目を向けて、駅周辺の開発を進めなければならぬと思うがどうか。

区 長 グランドデザインでは、中野駅周辺の中でも南口地区を、文化活動拠点、文化発信拠点として描いている。北と南、異なるまちの個性の連携により、価値を高め、まち全体のポテンシャルを高めたい。

第九中・中央中の統合は、利便性高く魅力あるものに

九中・中央中の統合は、26年度の新校開校に向けて、順調に進んでいると聞く。①南側の生徒が、早稲田通りまで出ずに通学できるような、対策をとるべきではないか。②24年度から新しい校区に変更すると聞くが、統合校が九中の場所にある2年間は、柔軟に指定校変更ができるようにすべきではないか。③新校南側隣接の国有地を公園として整備すれば、新校の魅力

の一つとなる。国が売却方針を決めた場合、取得に向けて努力すべきではないか。

教育長 ①新校南側に通学に利用できる門を設置し、利便性や安全を確保する。②弾力的な取り扱いにより、変更を認め、新校舎移転後も通学できるようにする。

区 長 ③公園用地として取得し、学校の教育環境まちの魅力、公園機能を向上させたいと考えている。

桃園川緑道の放置自転車・オートバイ対策を



すこやか福祉センター交流コーナー

区民公益活動に関する政策助成を利用しやすいものに

①21年度の助成結果をみると、活動領域により申請件数や交付率などにばらつきが生じている。特に子育て領域は、需要が高いが助成額平均は他より低い。22

年度の助成総額はこうした分析を行って配分したのか。②昨年度に比べ助成総額が20%減額された。財政難による一律削減は慎むべきである。また、申請時に過去の事業分析の記載を求めるなどの過重な申請事務は改善されるべきではないか。

区 長 ①活動領域間の適正化に努め、採点基準の明確化などを行い改善した。②予算額の縮小は、限られた予算をより効果的、効率的に執行するため判断した。また、申請時の軽減は、手続き全体を改めて点検し、簡素化に努めていく。

トバイの駐車が多い。自転車等放置防止条例による撤去が可能と考えるがどうか。

区 長 緑道の一部は規制区域内であり、条例に基づく撤去が可能だが、それ以外の区域は対象外である。

ご利用

ください

●声の区議会だより
目の不自由な方のために、区議会だよりを朗読録音したカセットテープ「声の区議会だより」を発行しています。郵送により無料でお届けします。利用をご希望の方は、区議会事務局 電話3228-5585まで。

また、地域センター、区立図書館、障害者福祉会館などで貸し出しもしています。視覚障害者の方へお知らせください。

働き盛りの世代の 定住対策を進めよ

自由民主党議員団 ひぐち 和正



中野区は高齢者と若年者が多く、働き盛りの世代が少ない。今後、高齢化が進み社会福祉が求められる中で、区は税収を高めていかなければならない。そのため、働き盛り世代の定住が必要だ。家賃補助などの支援を行い、住まいの心配をなくすことで、住民の定住が進むのではないかと考えている。

すこやか福祉センターの相談支援サービス拡充を

近所のトラブルの相談や、増え続ける自殺や孤独死を防ぐための相談など、どんな悩みでも、いつでも相談できる24時間365日の相談システムを確立してはどうか。

区長 定住対策について、家賃補助は考えていないが、大規模団地の建て替えなどにおけるファミリー向け住宅建設の要請や、良好な子育て環境など、総合的に取り組んでいる。今後

区長 高齢者や障害者、支えあい活動を行う地域住民からの急を要する相談に、24時間365日対応できる体制の整備を図っていき

い。その他の相談については、今後、設置を検討しているコールセンターなどの活用により、24時間365日の相談体制の仕組みを構築していきたい。

広域避難場所を目指した本町のまちづくりを

(仮称)本町五丁目公園のまわりには避難場所になる場所が多い。そこで、本町のまちづくりは(仮称)本町五丁目公園を核とした広域避難場所を目指して、進めてはどうか。

区長 学校用地を含めて広域避難場所の指定ができるなら、地域の災害に対する安全性が大きく向上する。安全・安心を実現するまちづくりについて検討していく。

地域支えあいネットワーク づくりの行政の役割を問う

無所属 佐藤 ひろこ



少子高齢化社会に、支えあいのネットワークづくりは重要だ。区は、子育てや介護などの区民サービスを民間法人や区民団体へ転換しているが、その専門性や意欲が発揮できるように財源などを配分し、コーディネートする力が必要である。行政の役割をどう考えるか。

区長 区民から信頼されるものとなるよう、評価する仕組みづくり、質や量を確保する監視・指導・支援が必要と考える。

日中一時支援事業の拡充を

障害児・者の保護者が必要としているのは、親が病院に行く時など一時的に障害のある子を預かってもらえる制度である。移動支援

COOL BIZ

中野区議会では、地球温暖化防止のためクールビズを実施しています。

夜間一時保育事業を 早期に実施せよ

無所属 むとう 有子



今春、総工費4億円を投じた母子生活支援施設が完成した。新施設ですべての子育て家庭対象に夜間一時的に子どもを預かるトワイライトステイ事業を実施する予定だったが、財政難を理由に実施目途がたっていない。実施時期も含めた検討の進捗はどうか。

副区長二人の根拠を問う

副区長の役割を区長を補佐する役割に変更するならば、一人で十分ではないか。

区長 新たなしくみの

「命の尊さを広げる」 先進的な取り組みの拡大を

無所属 近藤 さえ子



区の犯罪被害者等支援施策は先進的な取り組みとして、他の自治体からも高く評価され、6月には千葉県の54市町村の担当者向け公開講座で担当職員が区の取り組みを紹介していた。他にも同様の講演依頼を受けていると聞くが、どのような状況か。

副区長二人体制について問う

副区長を二人とし、区長

小学校外国語活動への 区の取り組みを問う

無所属 いながき じゅん子



①今年度から小学校5年、6年生の外国語活動が必修となったが、教員の英語力の現状は。また、教育委員会は都と連携し、教員の英語力の向上に取り組むべきでは。②契約の形態上、学

アスベスト飛散を防止せよ

無所属 林 まさみ



空気中に浮遊し人体に吸収されると健康被害を及ぼすアスベストは、解体工事中飛散し、住民と補償交渉となった事例もある。今後、建築物の解体工事などがピークを迎えるが、銭湯や立体駐車場など、飛散の可能性の高い建物の責任者に対し、工事前に一歩踏み込んだ啓発や指導が必要では。

区主催の検討会は傍聴ができない上、委員構成が中野区のみである。子育て世代や区立小中学校関係者、障がい者の意見、防災や環境などの意見を募る場を設け、多様な地域住民の意見を反映させるべきでは。

区長 検討会では自由闊達な意見を議論してもらうため非公開としている。地域住民の意見を聞く意見交換会も2回開催した。

区長 対象建築物の抽出指導や届け出規定がない80㎡以下の解体工事についても指導している。今後も一層の啓発指導に取り組む。

中野区議会定例会 (一般質問)をテレビ放送しています。

中野区議会では、JCN中野(シティテレビ中野)で、議会のテレビ放送を行っています。内容は、各議員の一般質問などの録画放送です。放送予定などは、決まり次第、中野区議会ホームページに掲載します。ぜひご覧ください。【問合せ】区議会事務局(電話3228-5585)

区議会各会派のEメールアドレス

自由民主党議員団 jimintou.nakanokugikai@mbn.nifty.com
公明党議員団 kugidan@nakano-komei.net
日本共産党議員団 jcp.nakanokugidan@mbn.nifty.com
民主クラブ info@min-c.org



め比較できない。ALTは補助的な役割であり、本来英語活動の中心となる教員の資質向上を図ることが重要と考える。

中野区議会ホームページをご利用ください

中野区議会では、いち早く区民のみなさまへ情報をお届けするため、ホームページを開設しています。会議録、委員会資料、議員紹介、区議会からのお知らせなどがご覧いただけます。ぜひご利用ください。

中野区議会ホームページURL <http://kugikai.city.nakano.tokyo.jp/>

第2回例会
第2回例会

可決した意見書
(要旨)

◆恒久財源なきばらまき政策を排し、財政の健全化を求める意見書

わが国の財政は税収が大きく減少し、債務残高が862兆円に達するなど、危機的な状況にあり、歳出と歳入を一体的に改革し、財源の裏付けのある社会保障制度を確立することが急務です。よって、国会および政府におかれては、理念なきばらまき政策を中止するとともに、財政を健全化するため、以下の施策を推進されることを強く求めます。

3 単なるばらまきではない子ども手当を全面的に見直し、保育所の整備・拡充や幼児教育無償化など、子育て家庭が真に必要なとするサービスを実施すること。

4 公務員の天下りの根絶、独立行政法人などでの税金の無駄遣いの撲滅など、徹底した行政改革を行うとともに、国家公務員人件費を2割削減すること。

（衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣、内閣官房長官、国家戦略担当大臣、公務員制度改革担当大臣、内閣府特命担当大臣（行政刷新）あて）

2 健全財政の維持を内閣の責任とする「財政責任法」を制定し、「恒久政策」には恒久財源の原則を確立すること。

◆発達障がいやその他の文字を認識することに困難のある児童・生徒のためのマルチメディアデジ版教科書の普及促進を求める意見書

通常の教科書と同様のテキストと画像を使用し、デ

閉会中の委員会の動き

平成22年4月～6月

▼総務委員会
4/20 報告9件を聴取
▼厚生委員会
4/22 要求資料1件を審査、報告5件を聴取

▼建設委員会
5/10 報告8件を聴取
▼子ども文教委員会
4/21 報告4件を聴取
6/3 報告4件を聴取

デジタル化対応することで、テキスト文字に音声をシンクロ（同期）させて読むことを可能にした「マルチメディアデジ版教科書」（デジ版教科書）は、その普及促進への期待が大変高まっています。しかし、教科書無償給与の対象となっていないことに加えて、その製作には多大な時間と費用を要するにもかかわらず、ボランティア団体頼みであるため、必要とする児童・生徒の希望に十分に応えられていません。普及促進のための予算の更なる拡充が求められるところですが、これらの取り組みは不十分であると言わざるを得ません。

◆「機能性低血糖症」に係る国の取り組みを求める意見書

機能性低血糖症は、近年研究が進むと共に、患者の数も増えております。

ところが、この機能性低血糖症の5時間の耐糖能精密検査は保険適用されておらず、高額な自己負担が必要なか、実施する医療機関も少ないのが問題です。

機能性低血糖症と正しく診断されたことで、適切な治療を受け、症状が改善、社会復帰する事例は数多くあります。

よって、国におかれては、機能性低血糖症に関する調査研究、病気の認知および意識啓発、検査態勢の拡充等が図られるよう、以下のとおり取り組むことを要望いたします。

1 「機能性低血糖症」についての医学的研究の進展と診断・治療法の普及に向けて、国として調査研究を進めること。

2 「機能性低血糖症」の正しい診断に必要な5時間の耐糖能精密検査を保険適用の対象とすること。

3 新生児の「機能性低血糖症」による障害発生を

予防するため、周産期医療において妊産婦の生活習慣の改善を図るとともに、早期発見と治療の態勢づくりを推進すること。

（衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、文部科学大臣あて）

請願。

陳情の

審議結果

第2回定例会における請願・陳情の審議結果は、次のとおりです。（一）内の数字は年です。

採 択

（22）第9号陳情 「（仮称）区民活動センター」への職員配置について

（「仮称」区民活動センター）開設準備が進む中、現在区では「業務が円滑に展開されるまでは担当職員を配置する」としています。暫定的な配置ではなく、地

域と区との連絡調整・窓口サービス提供のために常勤する一定数の職員を残してください。

親子の面会交流の法制化と養育費支払い強化を求める意見書の提出について（20）第35号陳情 認可保育

不 採 択

（21）第6号請願 食料の自給力向上と、食の安全・安心の回復に向けて、食品表示制度の抜本的改正を求める意見書の提出について

【○：賛成 ×：反対】

継続 審査

（22）第4号陳情 東中野地域における継続した子どもの遊び場・居場所について

（22）第2号陳情 永住外国人への地方参政権付与の法制化に反対する意見書の提出を求めることについて

（22）第8号陳情 子宮頸がん予防ワクチン接種の公費助成について

《子ども文教委員会付託》

（20）第25号陳情 離婚後の

意見の分かれた案件（第2回定例会）

件 名	会派名等 (議員数)	自 (14)	民 (9)	公 (7)	民 (4)	無 (6)	結 果
区長提出議案							
中野区特別区税条例の一部を改正する条例		○	○	×	○	○×	可 決
中野区立学校設置条例の一部を改正する条例		○	○	×	○	○×	可 決
同 意							
中野区副区長選任の同意について（阪井清志氏）		○	○	×	○	○×	同 意
請 願							
(21)第6号請願 食料の自給力向上と、食の安全・安心の回復に向けて、食品表示制度の抜本的改正を求める意見書の提出について		×	×	○	×	○×	不採択
陳 情							
(22)第4号陳情 東中野地域における継続した子どもの遊び場・居場所について		×	×	○	○	○×	不採択
(22)第9号陳情 「（仮称）区民活動センター」への職員配置について		○	○	○	○	○×	採 択

※会派等の略称〔自民：自由民主党議員団、公明：公明党議員団、共産：日本共産党議員団、民主：民主クラブ、無所属：無所属議員〕議員数は議長を除く。無所属議員については、会派と同様の扱いで掲載しています。

所への「直接契約方式」の導入と最低基準の廃止・見直しに対する意見書の提出に関する陳情書

今後の議会日程

●第3回定例会（予定）

9月15日～10月19日

●閉会中の委員会

総務委員会 9月6日
区民委員会 8月30日
建設委員会 8月30日
議会運営委員会 9月1日
中野駅周辺・西武新宿線沿線まちづくり特別委員会 9月6日

河川大会に参加



第48回東京河川改修促進連盟の総会及び促進大会が、5月20日、日本青年館で開催されました。

この大会は、安全で水害のない水と緑豊かな潤いあふれる生活環境を創るために、河川改修の早期完遂と内水対策の早期実現を図ることを目的としています。

中野区からは、議長をはじめとする議員代表のほか、関係職員などが参加しました。

総会では、平成21年度事業報告や平成22年度事業計画の議決などを行いました。促進大会では、佐野れいじ建設委員長が区部の自治体を代表して意見発表を行いました。また、国会・政府・都に対して、都内の河川改修の早期完成など治水対策促進を求める宣言や、総合的な治水対策の着実な推進と財源の充実などを求める決議を行いました。